

学校だより

第21号

椎の木



令和5年1月23日発行

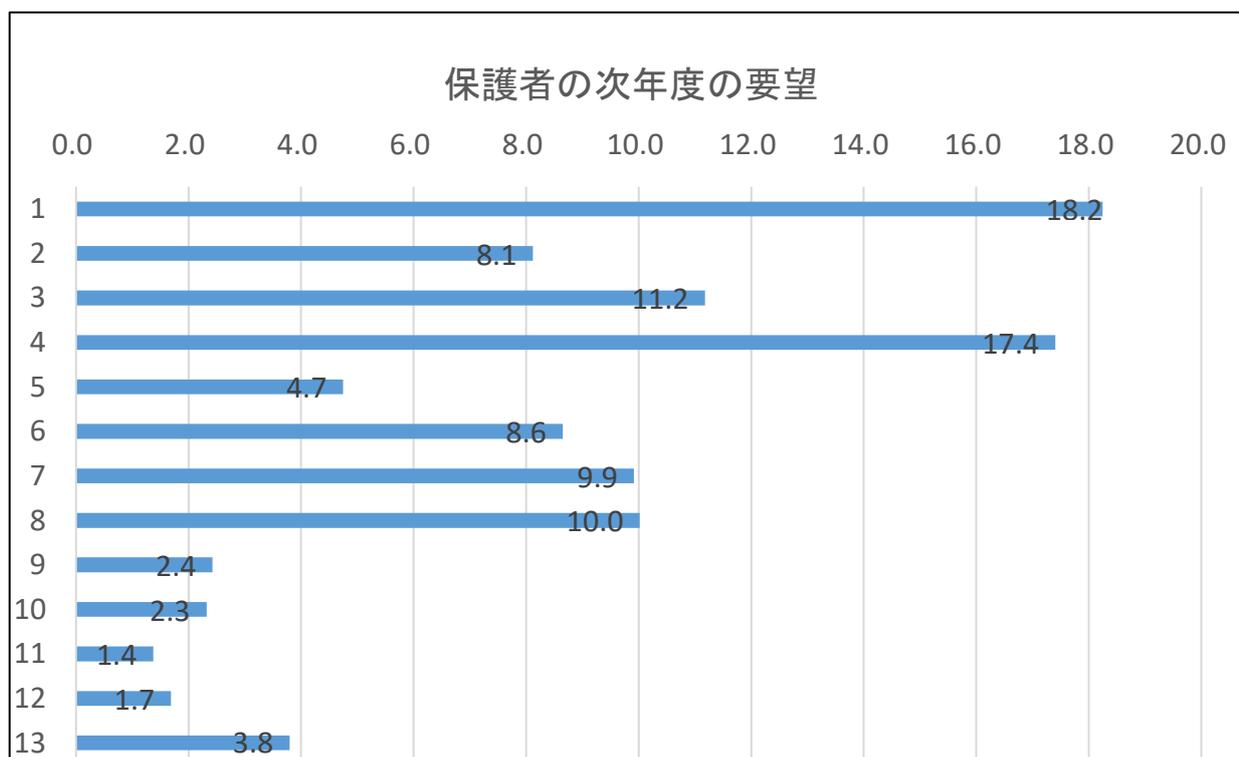
流山市立東部中学校

生徒数 554名

学校評価アンケートありがとうございました

2学期末に学校評価の自己評価とともに、「保護者の次年度への要望」について、ご回答いただきました。内容は以下の13項目で、その他自由記述がありました。13項目についての結果は以下のようになりました。

項目	割合 (%)
1 学力向上の推進。	18.2%
2 授業におけるICT機器（タブレットなど）の効果的な活用。	8.1%
3 あいさつなど、礼儀やマナーを守る指導の充実。	11.2%
4 心の教育（道徳、思いやりなど）や人権教育の充実。	17.4%
5 体力向上の推進。	4.7%
6 学校行事の充実。	8.6%
7 体験活動の充実。	9.9%
8 社会のルールやきまりを守る指導の充実。	10.0%
9 読書活動の充実。	2.4%
10 防災・安全教育の充実。	2.3%
11 特別支援教育の充実。	1.4%
12 保護者や地域人材を積極的に活用した学習の充実。	1.7%
13 HPや学校だより、学年だよりなど学校の情報発信の充実。	3.8%



最も多かったご意見は、「1 学力向上の推進」でした。2番目に「4 心の教育（道徳、思いやりなど）や人権教育の充実」、3番目が「3 あいさつなど、礼儀やマナーを守る指導の充実」という結果になりました。

学力の向上については、今年度も「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり」を重点として、授業に取り組んできました。単に知識を蓄積するだけでなく、自ら学んだり、協力して課題解決するなど、これからの時代に必要な力を身につけてほしいと思います。文科省では、「確かな学力」について「知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの」としています。

2番目、3番目の結果については、やはり人と人との関わりの重要性について、多くの方々考えている結果だと思えます。これからの時代に生きていく子供たちは、コミュニケーション力が大切だと言われますが、あいさつや相手の気持ちを考えられる力などが求められてくるのだらうと考えています。

さらに4番目以降、規範意識や体験活動など、学校生活の中で学ぶべきことなどが続いています。これからも保護者の皆様と協調・協働しながら教育活動を進めていきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

市長表彰を受賞

先日、市長表彰の表彰式がありました。この市長表彰は、今年度様々な分野で活躍した流山市内の児童生徒に授与されるものです。表彰式では、市長さんから代表者に表彰状が直接授与され、お祝いの言葉をいただきました。市全体では、個人・団体・特別表彰で、合わせて200名の児童生徒が受賞しました。

東部中からは、7名の生徒が受賞しました。

<受賞者>

1年	猪又 心優さん	団体表彰	ダンス全国選手権大会	3位
2年	秋元 陽翔君	特別表彰	日本少年野球東日本大会	準優勝
2年	荒井浩太郎君	特別表彰	日本少年野球東日本大会	準優勝
2年	廣瀬 隼 君	特別表彰	日本少年野球東日本大会	準優勝
2年	西本 星菜さん	特別表彰	The Dance Summit	優勝
3年	平澤 陸斗君	特別表彰	日本少年野球大会千葉支部予選	優勝
3年	鈴木 豪 君	特別表彰	全国中学生ラグビーフットボール大会	準優勝



市長表彰の詳細については、例年3月の「広報ながれやま」に掲載されています。

東部中からは、受賞団体の代表者として、西本星菜さんと鈴木 豪君が授賞式に参加しました。東部中から7名もの生徒が市長表彰を受賞したことは、大変すばらしいことだと思えました。